

2年1組 生活科大すき いっぱい わたしのまち かい田

【成果】

- ・3年生や4年生への総合的な学習の時間の福祉へとつながる，地域の「ユキ園」を素材にした単元開発である。また，事前に2回見学に行く仕掛けをつくっていた。
- ・「できる」活動かどうか，付箋を操作化しながら理由を考えていた。

【課題・改善】

- ・「できる」活動を考えるのか，ユキ園の人たちが「喜んでくれる」活動を考えるのか，話し合いの視点を明確にする必要がある。
- ・授業の導入時に，これまでの体験活動を想起させ，相手意識をさらにもたせるために，スライドショーなどで活動を全員が見られるようにしておく必要がある。



【協議内容】

児童 理由を言いながら分類している 話し合いの視点を明確に ・「できる」≠「喜ぶ」 「できる」=活動可能かどうか ・グループで付箋を分類する際に，分類のみにしていた		成果 思考ツール ・色分けされた付箋の活用 教室環境 写真掲示 ユキ園の見学→3年・4年の福祉へ	
		教師 全体の話合いの持ち方 ・グループの思考ツールの提示の仕方 全体で話し合う時には，理由から深める方が良い	
		課題	

児童 ゴールに向かう姿 ・本時のめあてに結び付けて考えられていた ・「できる」かどうか，自分の意見を伝えていた		成果 準備 ・ユキ園からの手紙や活動の写真 ・「できる」「できない」「分からない」を色分けした付箋	
		教師 思考の深まりが見られない ・グループの話合いで，理由を言わず分類していた ・活動の場所が明確ではなかった ・「できる」理由を出していくと，やりたい気持ちが高まっていく	
		課題 意欲付け	

4年1組 総合的な学習の時間みんな大好き 海田の自然～夢と希望のひまわりの花を届けよう～

【成果】

- ・児童の主体的な学びの姿…川上さんの話，町花に込められた願い
- ・ボーン図を使い，自分事として考えていた。

【課題・改善】

- ・教師のファシリテーション能力を高めていく必要がある。
- ・話し合いの根拠として，これまでに収集した情報を生かす。
- ・5つの活動を考えさせるのは難しい…自分たちの育てているヒマワリを利用してできる活動について絞り考えさせる。また全体の話合いの際には，座標軸を用いて活動を整理することもできた。



【協議内容】

児童 グループでの話し合いが活発 ・ポードフォリオにより理由が言える ・意見の交流ができる雰囲気 ・自分たちのこととしてとらえている ・よい点，問題点についてしっかり意見がある		成果 ・本時の見通しがもてる手立て ・グループで活動する前の指示 ・マトリックスにより，児童の発言が整理	
		教師 5つの活動は多すぎる ・多面的に捉えさせた場合，3×5=15の視点で考えなければならぬ。吟味させるためには，活動を絞る。 全体でまとめる 児童の発言を評価，比較しながらしぼる 今できる活動か，その後の活動か	
これまでの学習を吸い上げる 発言しながら，思考を深めさせる		課題	

児童 グループ活動では，全員が意見を言っていた ・説得力のある発言 川上さんの話，町花の由来 ・ひまわりを町の人に観んでもらうために，考えている		成果 ・活動内容を丁寧に確認 ・本時で付けたい力，明確に ・教室環境(付けたい力，学習計画等) ・切り返し発問(どこに？，どうしてそう思った？)	
		教師 意見を整理する力 ・時間配分の工夫 →2時間扱いにする ・グループで出たたくさん意見をどう集約するのか	
		課題	